

水難事故から市民を守る

市川市消防局水難救助隊発足20年

訓練



▲溺れた人を救助する水難救助隊員(訓練)



▲水難救助ゴムボート



▲水難救助隊員

水に関する痛ましい事故が、最近多発しています。市では、江戸川や東京湾内などでの水難救助に対応するため、平成6年に消防局に水難救助隊を発足し、今年で20年の節目の年を迎えました。隊員たちは、潜水士免許を取得した16人で構成され、現在は2交代24時間体制で、水の事故から市川を守っています。

水難事故と言ってもさまざまな事故があります。海や川で溺れた人を助けるだけでなく船舶の衝突、転覆事故や車両などの転落事故、また台風や津波などの自然災害で起こる事故でも水難救助隊が活動しています。

夏に多くなる水の事故を未然に防ぐため、みなさんも万が一に備えましょう。

☎3333・2111(音声ガイダンス:3番)消防局警防課



水難救助隊の活動用具紹介



▲水難救助隊の隊員と車両

水中コンパス



スキューバセット



水中ライト

フィン

水中ナイフ



水中グローブ



ヘルメット



ウエイト

水の事故を防ぐ

万が一事故に遭ったとき

水辺での事故の命綱となるのが早期の救助要請とライフジャケットです。

■泳ぎに自信があったとしても、溺れている人間を救助することは非常に困難です。助けようとして溺れてしまう事故も多数発生しています。まず救助を要請し、その上で、浮き輪やロープ、空のペットボトルを投げるなど出来る限りのことをします。

■海水浴場であればすぐに近くのライフセーバーを呼び、どの辺りまで流されたのかなど詳しい状況を告げましょう。ライフセーバーのいない河川などの場合は、119番通報をしましょう。

■釣りや川など水辺で遊ぶ際には、ライフジャケットを身に着けるようにしましょう。正しく身に付けていなければ何の役にも立ちません。必ず正しく着用しましょう。

ライフジャケットの効果

①身体の浮力を保ち呼吸を助ける

波の中では、短時間であっても自力で身体を浮かせ呼吸を続けることは容易ではありません。ライフジャケットは、身体の浮力を保ち体力の急激な消耗を防ぐとともに、呼吸を助けてくれます。

②発見を助ける

海や河川で漂流する遭難者を捜索する際に、目立つ色のライフジャケットは、遭難者の発見を助けます。

船の事故を軽減するために

小型船の遭難事故では、夜になっても帰宅しないことを心配した家族からの通報で初めて救助機関が遭難を知ることが少なくありません。行き先と帰宅時間を家族に伝えていれば、早期の救助につながる可能性があります。



夏は、家族や友人と海水浴やプール、釣りなど水辺でのレジャーの機会が多くなります。

しかしながら、水辺では一つ間違えると取り返しのつかない事故につながる可能性があります。

特に子どもはつい危険なことをしてしまいがちですので、保護者の方は水辺では子どもから目を離さないようにすることと危険性を教えてあげるようにしましょう。

プールで事故に遭わないために

プールは海や川などと比較して、流れや深さが限られていますが、それでも事故は発生しています。

浮き輪をしていても、浅くても油断しないことが重要です。

■飛び込まない

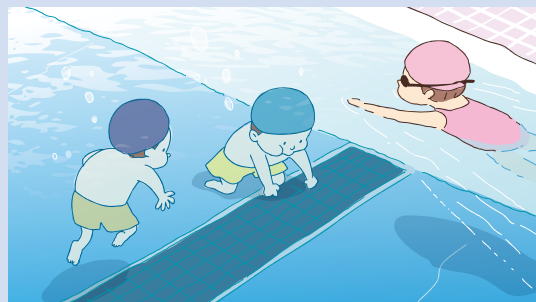
水深が浅く、入水時にプールの底や壁面に頭を強く打ちつけたり、事故につながる可能性があります。

■プールサイドは走らない

プールサイドは滑りやすくなっており、転倒すれば大けがにつながる可能性があります。走ったり、ふざけたりするのはとても危険です。

■排水口には触れない

排水口のふたには吸い込み防止金具が設置されていますが、いたずらに引っ張ったり、つかんだりするのは大変危険です。



海で事故に遭わないために

■遊泳禁止区域では絶対に海に入らない

遠方まで水が浅く見える海岸でも流れが急だったり、危険な場所が潜んでいることもあります。

■状況判断を的確に

波が高い時や、天候不良の時には海に近づかない。飲酒時は絶対に海に入らない。

■りがんりゅう離岸流に気をつける

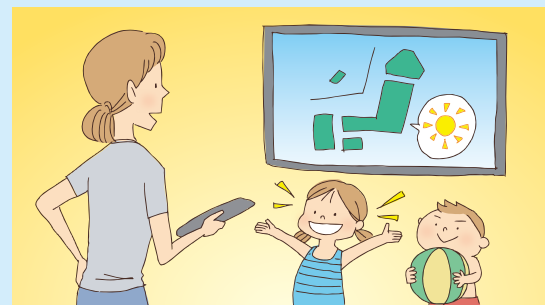
海では、離岸流という岸から沖へ強く流れる、海水の流れが発生します。この流れに乗ってしまうとあっという間に身体が沖へと流されてしまいます。逆らって泳ぐことはとても困難です。もし沖へ流されてしまったら、岸に平行に泳いでその流れから離れましょう。



川などで事故に遭わないために

■急激な増水に注意

- ・川に行く前に必ず天気や川の情報を確認する。
- ・立入禁止の川では遊ばないようにする。



■こんなときはすぐに避難を

- ・雨が降り始めたとき
(橋の下で雨宿りせずに川から出ましょう。)
- ・雷が聞こえたとき
(雨が降っていないくても、雨が降る前兆です。)
- ・川の水が濁ってきたとき
- ・流木やゴミが流れてきたとき
(上流で雨が降って、流れが急になることがあります。)

